

【平成26年度 全国学力・学習調査の結果から】

平成26年4月22日、全国の小6と中3生全員を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の集計結果が8月末に本校に届きました。その後、校内の教科部会を中心に調査結果を分析いたしました。これまでの成果と課題について報告させていただきます。

【1】学力調査分析

国語・数学ともに本校の正答率を全国平均や府平均と比較すると、よい結果が得られています。とりわけ、今年度は数学において大変よい結果が見られました。

(1) 国語の学力調査結果について

国語A（主として知識） 問題数は全部で32問ありました。

話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化・国語の特質に関わる4観点ともバランスよく解答しており、正答率は全国平均よりも高かったです。

中でも書くことにおいて、「主語を置き換えて行事記録を書き直す」問いや「国語辞典で調べたことを基に語句の意味を書く」問いについては全国の平均を大きく上回る正答率となっています。日頃の授業の中でも、自分の考えを整理し、意見をまとめて書く機会を多く取り入れたことが好結果につながったようです。

漢字の読み書きにおいては、「行動を計画にウツす」の生徒率が全国平均を大きく上回ったが、「アユの稚魚を放流する」の正答率が全国平均を大きく下回るなど、バラツキがあることも分かりました。今後の授業等で学習補充をしていくことにします。

国語B（主として応用）問題数は全部で9問ありました。

全問での正答率は全国平均と同程度でした。経年比較をすると、今年は国語Bの正答率から課題が見受けられそうです。

長文や資料等を解読して選択する問題に課題が見られました。じっくりと読み、論理的に判断することが必要な問題でしたので、今後もテスト等で出題を心がけていきたいと思っています。

【2】数学の学力調査結果について

数学A（主として知識） 問題数は全部で36問ありました。

全36問中、30問で全国平均を上回りました。昨年度の課題を大きくクリアし、各分野とも力が発揮できました。「数と式」分野では、日頃の練習の成果が出ていて、大変よい結果となりました。授業中のドリルや小プリント等を継続した成果と考えられます。

また、ここ数年金剛中学校の課題であった図形領域の設問に対しても、10問中9問で全国平均を上回っており、丁寧な学習の積み重ねが好結果として表れました。

「関数」分野では、全体的に苦手とする生徒が多いと思われます。その中でも、 x や y を使わないときの関数関係が分かりにくいようです。引き続き指導していきたいと思えます。

数学B（主として応用） 問題数は全部で15問ありました。

全15問中のすべての設問で全国平均を上回っています。

課題としては、「関数」の領域で、グラフや資料から問題解決した結果を解釈し、数量関係を数学的に説明することは難しいようです。日頃から、長い文章の問題を理解し、数学的に解釈して解答していく練習が必要であると思います。

「数と式」や「図形領域」で、よい結果が得られたことは、日頃から真面目によく努力している様子が伺えました。

また、A・B問題全体を通して無解答率が低く、数学の学習意欲の高さを示しているものとしてよい結果となりました。

【学力向上の対策】

（1）自主学習の推進

全校あげて自学・自習を推進しています。家庭での学習時間を確保することが、学習内容の基礎・基本を定着させることに大きくつながります。自主学習ノートは学期はじめに学校から全員に配布されています。ノートを提出すると担任や学年の先生が点検して返却しています。継続することで着実に力が着くと思います（後述）。

（2）授業改善

① 国語科では、授業の中での「学び合い」学習を大事にしています。真の学力育成には、自分の考えを発表する場の確保や協働的な学び、コミュニケーション型の学習が重要だと考えています。今回の全国学力調査結果からも、自分の意見をまとめ、書く力が育成されてきたことが分かりました。

また、これまで続けてきた「朝読書」を充実させ、幅広い文章に出会うことを勧めていく一方で、作文指導を通じて「書く力」の育成に努めていきます。

② 数学科では、2年生で週1時間時間を補充して、問題練習等で計算力の育成にあたっています。数学A問題では、この指導が好結果につながりました。

また、3年生では少人数指導の習熟度別授業に取り組んでおり、数学科の全授業時数の90%以上の時間で推進しています。生徒は意欲的に学習をし、一人ひとりの学力向上につながっています。

【3】全国学力学習調査生徒への質問より 質問数は全部で74問ありました。

学力調査の後に行われた学習状況調査では、主に（1）生活習慣について（2）学校生活全般について（3）授業について、の3項目について質問されました。

（1）今年が一番大きな特徴は、平日に1日あたり30分以上家庭学習をしている割合が90%以上あり、府や全国平均と比べても大きく上回りました。また、宿題をしていると答えている割合は96%であり、家庭学習の習慣が身につけていることが分かりました。全校あげて自主学習ノートに取り組み、真面目に努力していることが成績向上につながったと思われます。今後ご協力ください。

（2）学校生活全般については、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問については、84%が肯定的に答えているものの、15%程度の「楽しくない」と考えている生徒に集団づくりを基本とした充実感ある学校生活を送ってもらうことが課題と考えられます。

（3）授業については、各授業中に「めあてや振り返り」がきちんと提示されていますかの問いには、肯定的な意見が府や全国平均を下回っています。今年度は、どの授業もこのことに意識して取り組んでおり継続していきたいと思っています。